



参議院議員

大島九州男



福岡事務所
福岡県春日市若葉台西 6-90
国会事務所
東京都千代田区永田町
2-1-1
参議院議員会館910号室
電話03-6550-0910
kusuo_ooshima02@sangiin.go.jp

ホームページも
ご覧下さい
<http://kusuo-o.net/>
大島九州男
キャラクター
Qちゃん

Top 副幹事長として復興に全力!

この度大島議員は、民主党の副幹事長として各方面からいただく「陳情」を伺う大役を仰せつかりました。

担当させていただくのは、

文部科学省

教育、専門学校、青少年育成、科学技術・学術、スポーツ、文化

九州沖縄地域全域

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

宮城県

東日本大震災で被災した宮城県の復旧・復興に関する政策

に関する分野です。

いま、国会が取り組まなければならない課題は、東日本大震災からの復興、超円高への対策、少子高齢化への対策など明らかです。

現下の国難に立ち向かい、与えられた職務を全力で行い、国民生活の向上に資する結果を導くよう粉骨砕身働いてまいります。



写真・国会議事堂内の幹事長室で日々行われている「陳情要請」の様相
この日は「雲仙普賢岳火山防砂」に関してのお話を伺いました

報告



厚生労働委員会に所属

厚生労働委員会に所属致しました。

首尾一貫して取り組んでいる療養費の活用に関する議論と、未病・予防の観点から「統合医療」の必要性をしっかりと議論してまいります。

報告



決算委員会の筆頭理事

決算委員会筆頭理事に就任致しました。

「予算」の衆議院「決算」の参議院と言われるほど決算委員会が重視されています。

国の財布の出口をきっちりと監視して、予算をチェックしていきます。

野田総理

3次補正予算成立へ決意

両院議員総会で震災復興を誓う

野田総理は、両院議員総会で党執行部、衆参両院の党所属議員の協力に謝意を表明し、予算委員会には座禅を組むような思いで心を落ち着かせ、心の中に「大忍」という文字を書いて、冷静に対応するように努めたと述べた。

そして「結果的に安全運転と指摘されているが、政権が発足して今、ローギアを入れたところ。これからギアチェンジをして、セカンド、サード、トップと入れていく」とした。

さらに、政権が発足して1カ月が経過し自分の人生・リズムは大きく変わったが、「24時間、365日、国民のために働かなければならない当然のリズムに変わったと思っている」と発言。

次の臨時国会では予算や法案を提出して成立を期していくとの強い決意を表明した。

(党本部HPから抜粋)



ご案内

メルマガの ご案内

大島九州男議員の活動を報告するメルマガジンを定期的に配信しています。

メルマガジンの配信をご希望の方は、

kusuo_ooshima02@sangiin.go.jpまで「メルマガ希望」としてお申し込み下さい。

順次、メルマガジンを送信させていただきます。

活動

今日、福島で活動

おはようございます。今日は福島県内で活動をさせていただきます。

午前中は南相馬市（原町）の原町第一中学校における「除染作業」現場の視察を行い、その後、防災堤と防潮林の「除染」進捗具合を視察、ついで「牛の囲い込み作業」の説明を受けた後、福島第一原発修復の最前線拠点となっている「Jビレッジ」を訪問します。

原発事故から半年が経ち、原子炉の安定的な冷温停止状態の実現が間もなくというところですが、近隣にお住まいだった皆様方にとっては耐え難き日々であつたらうと心を痛めております。

放射能に汚染された地域の除染作業を急ぎ、避難を余儀なくされた地域住民の皆様が一日も早く帰宅できるよう万全の対策を講じ、震災からの復興に微力ながら全力を尽くしていきたいと決意を新たにしております。

今日の活動では、緊急時避難準備区域の訪問と、いわき市内での仮設住宅の訪問を予定しております。

被災者の皆様から十分にご意見を頂戴して国会の場で議論を尽くしてまいります。

では8時から仕事をさせていただきます。

大島九州男ブログ「Q-blog」から



写真 上・除染作業、下・避難所内で樽床代表代行と共に住民の皆様からご意見を伺う大島議員

活動

被災地からのインターン生が就職内定！

この夏、国会事務所でインターンとして働いていただいた仙台市内の大学に通う学生が見事内定を獲得しました！

この大学生は仙台市内に在住で、東日本大震災発生以来、すぐさまボランティアとして避難所等に向かい、着の身着のまま寝食を忘れて被災者の支援に当たったとのこと。

石巻市、松島町、仙台市若林区、とくかく体力の続く限り懸命に「無償」で働き続けたとのこと。

この大学生のように、なかなかマスコミ等では取り上げられない「力」が、震災復興への大きな原動力になっているのだと再認識しました。

さてこの大学生は、東日本大震災に起因する就職難と、何よりもボランティアに注力するあまり就職活動を順調に行うことが出来ませんでした。

そこで、当事務所の公募により、議員会館でインターンとして働きながら、その傍らで就職活動を積極的にしていただきました。

そして見事、この度、大手不動産会社に就職が内定したのです。

震災復興については、どうしても施設復旧等の「ハード面」ばかりが注目されますが、人を育てるという「ソフト面」の支援については世間の関心を引きつけていないのかもしれない。

こうした若い世代が、次の時代を切り開くために、微力ながら応援していきたい、そのように感じる嬉しい知らせでした。

